



京都検定ワンポイント講座



京都検定講演会講師の(株)らくたび・代表取締役 山村純也先生が、京都検定の過去問について詳しく解説します。しっかり学習を深め、京都検定合格を目指しましょう！



過去問題

第16回 2級

良水に恵まれていたことから酒造業が盛んで、江戸時代には水陸交通の要衝として発展した、酒蔵の景観が美しい地域はどこか。

ア 伏見

イ 上賀茂

ウ 榎原

エ 美山

解説・解答

伏見はかつて「伏水」と呼ばれたように豊富で良質な水が湧き、弥生時代から酒造りがされていたと伝わる。安土桃山時代に伏見城と城下町が形成されると酒造業が一気に盛んとなり、豊臣秀吉によって宇治川の整備も行われたことから、港町としても繁栄期を迎え、酒造りの街としての地位を確固たるものとした。現在も城下町の名残の道路が縦横に走り、道沿いに残る多くの酒蔵が美しい景観を構成している。

上賀茂は平安京以前より豪族賀茂氏が拠点として支配し、上賀茂神社門前

の明神川沿いの社家町一帯は、重要伝統的建造物群保存地区となっている。また京漬物を代表するひとつであるすぐき漬けの産地としても知られている。

榎原は山陰街道と物集女街道が交差する交通の要衝で、近世からは宿場町として発展し、現在も風情ある町並みが残っている。丹波計略を織田信長より託された明智光秀も、この街の整備に助力したという逸話も残っている。

美山は丹波地方にあって京都府のほぼ中央に位置し、約90%を森林が占めており、全域が京都丹波高原国定公園

の指定を受けている。中でも観光で人気の高い39棟のかやぶきの民家が存在する知井地区は、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。



答え **ア** 伏見



第17回京都検定を実施しました

12月13日(日)、第17回京都・観光文化検定試験を実施いたしました。今回は6339名のお申込みをいただき、当日は5693名が京都に関するさまざまな問題に挑戦されました。